

紫波ネット

Shiwa-Netzoo
「環境と福祉の町」づくり情報誌

◆特集 皆さんの声をまちづくりに ～まちづくり座談会の報告～



元気人・登場！

佐川旭さんから
町の象徴の駅待合施設

木

住

む

10月号
NO.585

日本の森林率は六七パーセントです。先進国の平均である三一パーセントに比べ、随分と森林資源に恵まれているわけですが、私たちはいつの間にか自然と会話をしなくなってきたように思われます。例えば家を購入するとき、最近では「型」にとらわれすぎていると思うんです。実際にはその夫婦、家族がどんな風な暮らしをするかという「かたち」が大事なのに、家の「型」を見て「こんな家が良いな」と言ってしまう。極端に言えば「どう生きていくか」を論じてほしいんです。紫波中央駅の待合施設の設計に関しても同様の配慮をしました。施設中央の塔は一町八村を表しています。屋根は町民と行政の両翼をイメージし、デザイン全体は曲がり家をモチーフにしています。また待合施設のはりは、樹齢百二十年になるという町のアカマツを使っています。つまり、この待合施設は紫波町そのものを象徴する建物にしたかったんです。時が経てばよりこの建物が輝きを増してくるはずです。

（九月二十九日 紫波中央駅待合施設住民説明会で）
◆さがわ・あきら 建築家。紫波中央駅の待合施設の建築のための、駅ビルドワークショップから参加し、設計を担当。紫波町都市計画審議会の委員も務める。

まちづくりに



快適に暮らせる社会



195件の提言のうちもっとも多かったのが、約4分の1を占めた道路や河川、下水道、公園などわたしたちの暮らしに身近な内容です。「快適に暮らせる社会」を実現するための提言・意見が寄せられました。

Q 大きな道路の除雪は良いが、幅の狭い道路は不完全な部分も。通学路を中心に、早めに対応願いたい。

A 道路の除雪は前年の実績をもとにバス運行路線や交通量が多く通勤、通学などに重要な路線を最優先に行っています。皆さんの生活に支障をきたさないよう、今後も努力をしていきます。

Q 公園は数多くあるが、どれも小さい。子どもがうるさいと苦情があり、キャッチボールもできない。大きく自由な公園があればいいのだが。

A 宅地開発で開設された公園は、開発面積と関連した広さとなります。宅地開発指導の中で周辺状況、面積を考慮してより使いやすい公園を求め指導していきます。

Q 道路と大排水路の草刈りは地域で行っている。町道法面の草刈はボランティアが委託か。方針を聞きたい。

A 道路の草刈りは地元の皆様のご協力をいただきながら、進めているというのが現状です。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いします。危険な場所や困難な場所などはご連絡ください。

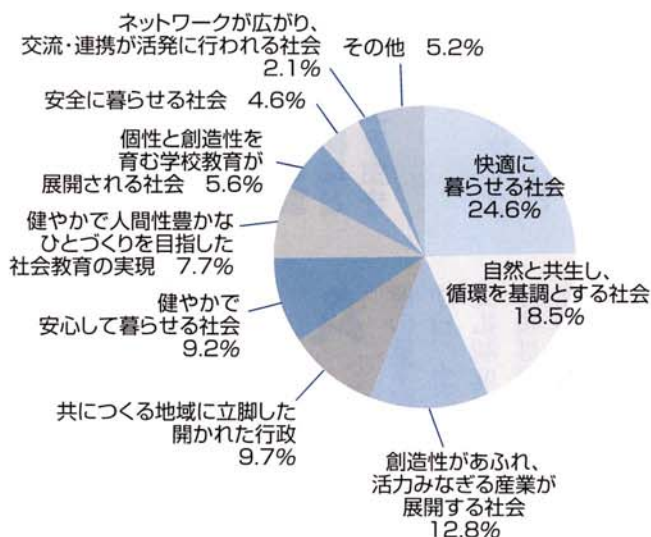
Q 城山は桜、ツツジが美しい。季節ごとに咲く花を植栽し、花の城山にしてはどうか。

A 現在城山公園には、桜、ツツジ、梅などたくさんのお花々、樹木が植栽され、近隣には美しい公園として利用されています。今後は現状の植生形態を把握したうえで、整備計画を立て、潤いと安らぎを与える都市公園として管理運営していくことを考えています。

皆さんの声を

平成13年度のまちづくり座談会が6月23日の志和地区を皮切りに、町内9カ所で開催されました。これは皆さんの生の声を、町政に反映させようと毎年行っているものです。今年のまちづくり座談会では、藤原町長がパソコンと大型スクリーンを使って、今年度から新しくなった「紫波町総合計画」や「紫波町環境・循環基本計画」などについての説明も行ないました。

9地区合わせて167人が参加し、集まった195件のご意見や提言の中から、主な内容と回答をご紹介します。



自然と共生し、循環を基調とする社会

「快適に暮らせる社会」に次いで件数の多かったのが「自然と共生し、循環を基調とする社会」に関するもの。循環型社会の構築を目指す町にとって環境保全や景観、ごみ処理など皆さんの関心の高さがうかがえます。

Q アメリカシロヒトリ対策について、町では現在どのような状況になっているか。

A 動力噴霧機を備え、行政区単位で貸し出しを行っています。地区で取りまとめて駆除する方法がベストと考えます。発生の時期は、おおむね六月と八月下旬ごろとなりますが、来年度以降も早めの駆除にご協力をお願いします。また、道、河川などの町で管理する場所は、発生状況などに応じてその都度薬剤散布を行っています。

Q ごみポイ捨て禁止条例の成果が、どの程度上がっているか聞きたい。

A 平成十一年四月ごみポイ捨て禁止条例施行、当初三十三カ所あった不法投棄場所は、監視員や地域のご協力で処理し、現在十一カ所にまで減らすことができました。またその後も毎月監視員から報告を受け現状把握しています。条例施行後、関心も高まり、確実にポイ捨ては減っています。今後ともごみのポイ捨てがない美しいまちづくりのため、監視体制の強化を図っていきます。

Q 資源循環で生ごみのたい肥化を実施すると聞いたが、どこまで進んでいるのか。またたい肥化施設はどこに設置するのか。

A 資源循環計画の中で家畜ふん尿と事業系の食品残さを原料とした高品質たい肥生産を計画しています。たい肥化施設は新山地区に建設を予定し、十三年度、十四年度の二カ年で整備を計画しています。





創造性があふれ、活力みなぎる 産業が展開する社会

町の基幹産業である農業は水稲をはじめ野菜、果樹など、県内有数の産地となっています。農業振興、森林など「創造性があふれ、活力みなぎる産業が展開する社会」への提言が多く出されました。

Q 山の本が十分に生かされていない。こうした状況では、山林で生活はできないと考えるがどうか。

A 公共建築物などへの町産材活用を積極的に進めていきたいと考えています。森林景観は町の財産でもあります。地域特性を活かした振興策を進めていきます。

Q 山村地域の高齢化が進み、遊休農地が多くなっているが対策はあるのか。

A 山村の地域では、耕作放棄地の増加などにより、多面的機能の低下が特に心配されていることから、十二年度に中山間地域等直接支払制度が創設されたところ。今後は集落協定などにより農業生産活動の増進を図られることを期待しているところです。遊休農地の活用は地域の皆さんの協力を得ながら進めていきたいと考えます。

Q 規格外の果実や野菜は、産直に出すだけでは対応できず、廃棄することも少ない。トマトや大豆の加工の器具や長期保存が利く真空包装機、野菜乾燥機、麺加工機などあれば、農家の主婦も生き生きすると思うが。

A 現在いろいろな団体やサークルで農産加工が取り組まれています。町では、こうした各団体やサークルから積極的にご意見をいただき、多様な支援を計画していきたいと考えています。

Q 脳卒中などの病気予防や健康増進に力をいれてほしい。

A いかに元気に長生きをするかを課題に、今年度から「元気はつらつ委員会」を立ち上げました。生涯学習やスポーツ、健康指導など、さまざまな機会をとらえ、元気はつらつ委員会を中心に取り組んでいきます。

健やかで安心して 暮らせる社会

「健やかで安心して暮らせる社会」に関する意見や提言は、児童福祉や高齢者福祉、町民保健、町民医療などについての関心の高さがうかがわれます。

Q 少子化を打開するための展望はあるか。こうした状況を底上げしていくには、子育て支援が必要ではないか。

A 紫波町子育て支援センターの設置をはじめ、保育所の開所時間を午前七時三十分から午前七時に引き上げるなど、町でも子育て支援には積極的に取り組んでいます。また保育所に入れない低年齢児の保育については保育ママ（家庭保育してくれる人）の登録をして、相談に応じています。一時預かり保育も開始しました。



共につくる地域に立脚した開かれた行政

地方分権や広域合併、財政、政策評価など「共につくる地域に立脚した開かれた行政」に関する質問や提言が寄せられました。



Q 地方分権や税収の伸び悩みの中、住民の要望に応えるのは大変。時間をかけても、行政に頼りすぎる町民の意識を変え、効率的な行政スタイルを確立してほしい。

A 地方交付税も平成十三年度は5%減など、財政面の改革に取り組まなければならないと思います。税収入の減収で、四月から国保税率の見直しや事業や職員数の削減、道路舗装も資材の再利用など合理化に努めています。また行政評価で業務チェックを行い、事業自体の必要性を検討しています。まず、職員に認識してもらおうと、研修を行っています。

人間性豊かで健やかなひとづくりを目指した社会教育の実現

青少年・成人教育や芸術・文化、文化財、図書館、社会体育など「健やかで人間性豊かなひとづくりを目指した社会教育」に関する提言は、幅広くすべての項目について寄せられました。



Q 小学校のさんさ踊りが盛んになってきた。平成十四年度から学校週五日制になるが、子ども対象の芸能まつりを考えてほしい。

A 伝統芸能の保存という面や青少年の健全育成の面からも、このような活動の持つ意義は大きいものと考えます。発表の場が励みになるならば地域の協力をいただき実施していきたいと思います。

Q 来年から子どもたちは週休二日になる。子どもの行き場所、安心して集まれる所、勉強できる場として、町に図書館がほしい。

A 現在の中央公民館図書室には閲覧室がありますが、不十分です。今年度からの新しい総合計画の中で実施を予定しています。内容としては生涯学習センター的な要素を持つものを考えています。小中学校の一部開放などを大いに活用していただくようお願いいたします。

町ではお寄せいただいた提言や意見をまとめ、提言集を作成する予定です。現在、作業中で今月末には地区公民館に配付しますので、お近くの公民館をご覧ください。

担当 企画課 ☎672-2111 内線324 有線01-8891

学校と地域の学社融合活動&
中堅リーダー研修会「サマワーク」

“ゆうごう”^{って}

子どもたちも大人も
お互いのメリットがあってが楽しいこと！
学校週5日制も楽しくすごそう
21世紀の町づくりは学校から・地域からデザインする

教振だより 第19号 (平成13年10月10日)

より かしく
より たくましく
より ゆたかに
より 明るく
より 美しく

教育振興

だより

教育振興運動とは
五者（子ども、親、教師、地域社会、教育行政）が、互いの責任を明確にし、力を合わせて教育の向上に努める運動。

五者の基本目標

- 子どもの学習意欲の高揚
- 家庭教育の振興
- 学校教育の充実
- 地域社会における教育環境の醸成
- 教育条件の整備

紫波町教育委員会・紫波町教育振興運動推進委員会



教育委員会では、昨年から学校と地域の融合を目指した学社融合支援事業を進めています。学校では総合学習などで地域の人の力を必要としています。また地域では、地区民のコミュニティの広がりが必要です。新しい交流の場が学校から広がります。学校だけでは解決できない課題がありませんか？地域行事は土日だけに限られていいのでしょうか？毎日の活動に相互にメリットがある方法を見つけいきましょう。子どもは地域のエネルギーです。子どもと一緒に自分育てをしていきましょう。

三月三日、石鳥谷町の
藤原節和さんを先生に
彦部小で豆腐づくり

新たな教育委員に 澤口たまみさん



9月に開催された定例町議会で、教育委員の任命について同意を求める議案が提出され、新たな教育委員に澤口たまみさん（片寄）が決まりました。澤口さんには10月1日藤原町長から辞令書が手渡されました。今後の活躍が期待されています。

前任の作山静男さんは平成8年4月から2期5年5カ月、教育委員として町の教育行政のためにご尽力いただきました。長い間ご苦勞さまでした。

澤口たまみさん経歴／片寄在住、昭和35年8月盛岡市生まれ、著述家業。昭和58年岩手大学農学部卒業後、同大学院農学研究科修士課程を修了。平成2年『虫のつぶやき聞こえたよ』で第38回日本エッセイストクラブ賞を受賞、ほか作品多数。県自然環境保全審議会委員、県水産審議会委員、県総合計画審議会委員など県の審議会委員を務めているほか、4月からは町胡堂文庫運営委員としても活躍中です。

子どもも大人もいきいき。学社融合のあれこれ

中高生社会参加活動で 金山太鼓に挑戦&披露

八月十四日、佐比内地区で毎年行われている金山まつりに今年初めて紫波一中の女子生徒五人が参加。威勢のいい太鼓にみせられて、遠い道のりを稽古に通った成果を披露しました。参加した生徒は、佐比内のメンバーに支えられての初舞台。はじめはかけ声もちよつと遠慮ぎみでしたが、地元の生徒とのジョイントでは、威勢の良いbachaを見せ、観客から大きな拍手を受けていました。



テントを張って牛丼に 舌鼓を打った屋外体験

長岡地区中高生育成会では、八月三日に農村公園でキャンプを行いました。盛岡市

の諏訪弘さんの指導のもとに、まず最初にテントの設営。続いての野外炊飯では、牛丼に舌鼓を打ちました。時折ばらついた雨が残念でしたが、アウトドア気分を味わった夏のひとときでした。



地元の皆さんが「先生」 総合的体験学習が充実

八月三十日、紫波第一中学校の総合的体験学習の時間に、地域の皆さんが「先生」となって活躍しました。役場の職員や外国籍の人、医師など十三人の地域の皆さんをはじめ、盲導犬も参加して、いきいきとした授業が行われました。

親子で楽しむ土器づくり 最後は野焼きで縄文気分

会場からは「お父さんの方がうまいぞ」という声が聞こえてきます。佐比内小学校では、七月二十二日に土器づくりを体験。思い思いの工夫を凝らした土器は、七月二十九日に野焼きで焼き上げ、気分はすっかり縄文人。

郷土の偉人を皆でしのぶ 「異聖歌」が結ぶ融合活動

六月二十三日、日詰小学校では、校歌の作者であり名誉町民「異聖歌」の顕彰と童謡に親しむ活動を行いました。例年中央公民館で開催されている「童謡まつり」を、今年は日詰小学校で開催することになり、小学四年生と紫波童謡会の融合による見事な会が開かれました。小学生は童謡の会の皆さんから指導を受けて童謡を披露。童謡の会は「子どもたちへ、聖歌さんの詩を伝えたい」と心を込めて歌いました。最後に会場の皆さんと一緒に合唱し、異聖歌をしのびました。



中高生社会参加活動

中堅リーダー
研修会

「サマーワーク」

七月三十日・三十一日・国立岩手山青年の家



今年度の中高生社会参加活動中堅リーダー研修会「サマーワーク」は7月30日、31日の両日、滝沢村の国立岩手山青年の家で行われました。

町内の各実践区から次期リーダー候補の中学生82人、高校生リーダー15人、指導者16人の計113人が参加しました。当日は悪天候でしたが、大自然の中で、雨にも負けずにがんばって研修した中高生の様子を紹介します。

活動① レクリエーション

初めて出会った参加者の気分を和らげ、これから一緒に活動しようという意欲を高めるための活動で、県レクリエーション協会の小野昭夫さん（上平沢）の指導で行われました。新聞紙のパズルや紙テープや新聞紙で作った班対抗の王様、女王様作りゲームなどをしました。

一・二班みんなで作ってくれたドレス、うれしかったです。みんなありがとう。
（紫波高三年・浅沼望美さん）

活動② 野外炊事

雨がザアザアと降る野外で、まきと飯ごうでご飯を炊き、カレーライスを作りました。

特にカレー作りは大変でした。雨は降るし、なかなか火がつかなかったし、ご飯を炊くのも一苦労でした。さらに火の調節とか大変でした。けれどもかなりうまく炊けたので、おいしく食べることができました。

（紫波三中・上声智也君・水分）

活動③ ニュースポーツ

あいにくの雨で、キャンプファイヤーは中止、体育館で

活動④ ネーチャージョーゲーム オリエンテーリング

ニュースポーツ（キン・ボール、シャッフルボード、ユニカール）を体験しました。最初は緊張しましたが、到着して、レクリエーションや野外炊事をするうちに、とても楽しくなりました。ニュースポーツのときから、同じ班の人たちとも話をするようになり、新しい友だちもできました。

（紫波二中・中村佳徳君・赤沢）

自分の班がやりたい種目を選んだ活動、普段体験できない雨の中で実施しました。ぬれた体も、実施後のシャワ



遊びと学びの情報発信 「こどもネット・しわ」

文部科学省では地域で子どもを育てる環境整備を推進するために、衛星通信による「子ども放送局」の創設、「子どもセンター」の全国展開、「子ども家庭教育電話相談」の実施、「家庭教育手帳・ノート・ビデオ」の配付などの施策を「全国子どもプラン」として展開しています。

「こどもネット・しわ」はその中の「子どもセンター」として、紫波町・矢巾町の子どもたちを対象に設立されました。主な活動は、週末や長期休業中を中心とし

た子どものための体験活動に関する情報提供です。情報は、年に三回程度、冊子を発行し、紫波町・矢巾町の小中学校全児童生徒に配付するほか、公民館などでも見ることが出来ます。また、教育委員会ホームページ上でも十月末から公開しますのでアクセスしてみてください。

今後「こどもネット・しわ」は中央公民館内に「子ども放送局」を視聴できるコーナーを設け（十一月予定）そこを拠点に活動を展開していきます。

定期的に情報誌を発行して、情報提供を行います



問い合わせ 社会教育課
☎672-3362 有線01-8941
教育委員ホームページアドレス
<http://www.rnac.ne.jp/~siwakuyoi/>

ーでさっぱりしました。

ネーチャーゲームなどの活動で、自然のよさが分かって、とてもよい日でした。班のみんなも、とても楽しく活動をしていましたよでした。

(紫波二中・作山早苗さん・星山)

活動⑥ 話し合い活動

この研修のまとめとして、

活・動・を・振・り・返・っ・て

《中学生から》

私がこの二日間の「サマーワーク」を通して気づいたことは、自然のすばらしさと友だちの大切さなどです。そして班で協力しなければならぬことが分りました。

最初は、すごく不安だったけれども、他の学校の人たちとも交流することができたし、班員全員でご飯を作ったり、ゲームを楽しんだりと、一人一人が責任を持って取り組むことができました。

普段、学校や家ではできないことがたくさん体験できたうえに、楽しい思い出

ネットワーク形成ワークショップをしたり、感想を発表し合ったりしました。

サマーワークに参加して良かったと思うことは、一中や二中に友だちができたこと。最後のまとめの活動では、住所や電話番号を交換したりして楽しかったです。この後も仲良くしたいです。

(紫波二中・漆沢望さん・片寄)

《高校生リーダーから》

今回のサマーワークは、少しずつでも自分から進んで活動することができ、とても良かったです。班員の人たちも積極的な活動をし、リーダーとしてもやりがいがありました。

これからも自分から進んで積極的に行動し、サマーワークでの体験を勉強や学校生活で生かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

(紫波高校・上田香織さん)

今回初めて、支援ボランティアを募集したところ八人に参加していただき、特技を生かし熱心に指導していただきました。

《指導スタッフから》

私が指導を担当したネーチャーゲームは、雨の中で行わなければならず、子どもたちは嫌がるかなと思いましたが、さすが思いのほか、雨の中をいろいろ探したり、友だちと話をしたりしながら、自然から何かはプレゼントを受け取れたと思います。今となると雨もまた自然からの贈り物だったのだと思います。

(箱崎明美さん・日誌)





大にぎわい フルーツの里まつり

町内七カ所の産直とその付近を会場に九月二十三日、紫波フルーツの里まつりが開催されました。

それぞれの会場には、新鮮な農産物が手軽に求められるとあって、買い物客などが大勢訪れました。



またスタンブラリー抽選会や、各会場ごとの催しものも行われ、家族連れなどが秋の一日を楽しみました。また恒例のもちまきは、午後二時から七カ所の会場で同時スタート。会場いっぱい歓声が上がり、町の産直は終日にぎわいました。

ライオンズクラブ三十五周年を 記念し町に軽自動車を寄贈

紫波ライオンズクラブ（山下俊明会長）では結成三十五周年を記念し九月二十四日、町民の福祉と健康増進に活用してほしいと軽自動車を町に寄贈しました。軽自動車は白の三菱ミニ力で長寿

健康課に配置され保健活動のために使用されることになっています。



増田県知事が稲刈りに来町 特産のヒメノモチを刈り取り

増田県知事による稲刈りが九月三日、稲藤のほ場で行われました。当日は志和保育所の園児や土館地区農業生産団体、地区の人たちなど大勢が見守るなか、増田知事は作業服に長くつという出で立ちでコンバインを操作し、十アールのほ場に実った町の特産ヒメノモチを刈り取りました。町はモチ米生産日本一を誇り、

今年も千六百ヘクタールに作付けされました。



世界移殖者スポーツ大会で快挙 戸塚昌弘さんが来庁し大会報告

神戸復興事業として行われた第十三回移殖者スポーツ世界大会で、戸塚昌弘さん（二日町）が水泳五メートル自由形で二位、一〇メートル平泳ぎで三位というすばらしい成績を収め、九月四日報告のため藤原町長を訪問しました。十年前に腎臓の移植を受けた戸塚さんはラ・フランス温泉で一人練習を積んだという努力家。「健康者と同じ生

活ができることをアピールしたかった」とさわやかに話してくれました。



洋ナシを 丁寧に収穫

勤労体験学習の一環として、紫波第三中学校（佐藤正春校長）の二、三年生百四十人が九月十三日、上松本洋梨生産組合の団地で洋ナシの収穫を行いました。「商品として出すものなので」との注意に、生徒たちは組合員に交じり、一個づつ丁寧に作業をしていました。紫波三中の勤労体験学習は二十年以上継続して行われているもので、五月の授粉作業、六月の芽欠き作業に続いて今年三回目の作業になります。



夜光反射材やもちを配り 秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動の期間中の九月二十二日、古館地区交通安全協会（長谷川与志美会長）など関係者六十人が集まり、古館グリーンハウス前の交差点などで、交通安全テント作戦が行われました。特に古館地区は夜光反射材着用のモデル地区になっていることから、車を停めたドライバー一人ひとりに夜光反射材や



国際ワークキャンプの 皆さんも参加し稲刈り

片寄小学校（大石善弘校長、児童百二十一人）では九月十七日、勤労体験学習の一環として稲刈りを行いました。当日は、国際ワークキャンプのメンバー七人も加わり、鎌で一束ずつ丁寧に刈っていました。九月三日から二十三日まで七カ国十四人が来町したワークキャンプは歴史ある国際ボランティア事業で、町内の小学校の訪問や行事参加などで、町民と交流しました。



紫波の秋の味覚に満足 第二回紫波体験ツアー

紫波の秋の味覚を満喫



する紫波体験ツアーが九月十八日、町内の産直や観光ぶどう園などを回るコースで行われました。今回のツアーは仙台市の情報誌、仙台リビングとシティリビングが募集したもので、七十五人が参加、春に行われた山菜を中心としたツアーに続き二回目の企画です。また十一月にはリング狩りのツアーも予定されています。

町の名勝を訪ねながら 歴史探訪楽々ウォーキング

健康づくりの一環として歩く習慣を定着させようと九月八日、郵便局と町が主催し、かんぽ楽々ウォーキングが行われ約百人が参加しました。保健センターをスタートとゴールに城山や勝源院を回る約五キロのコースで、途中では工藤隼人さん（日詰）から歴史についてのお話を聞くなど、参加者は秋のウォーキングを楽しみました。



花いっぱいコンクールの 結果のお知らせ

紫波町民憲章推進協議会から

平成十三年度の花

いっぱい運動は、今年も学校や公民館、事業所、公共施設など町内全域で行われ、美しい花々が地域の花壇を彩りました。

一般の部の最優秀賞の大志田公民館



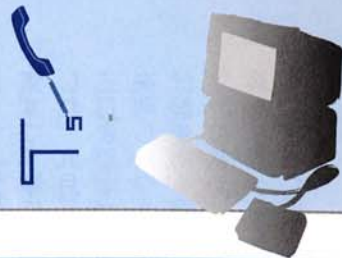
また皆さんにご協力いただいた花いっぱい運動活動協力金は総額で二四六万円となり、各自治公民館に配付さ

また皆さんにご協力いただいた花いっぱい運動活動協力金は総額で二四六万円となり、各自治公民館に配付さ

れた花苗の費用に充てられました。ご協力ありがとうございました。なお家庭用の花苗の販売は今年度もちまして終了させていただきます。

平成十三年度 紫波町 花いっぱいコンクール入賞団体

一般花壇の部	
最優秀賞	大志田公民館
優秀賞	紫波ふる里センター、平沢北通公民館、丹後部落・子供会、北奥機械株式会社
努力賞	日詰6区自治公民館、犬淵第一婦人会
奨励賞	遠山公民館・子供会、日詰1区自治公民館、大巻老人クラブ、上町自治公民館
ききょう賞	志和町第一自治公民館、平沢中通公民館
学校花壇の部	
最優秀賞	片寄小学校
優秀賞	星山小学校
努力賞	日詰小学校
奨励賞	赤沢小学校、長岡小学校



公共施設と公共物の 破損が相次いでいます

地域連携で 少年非行防止を

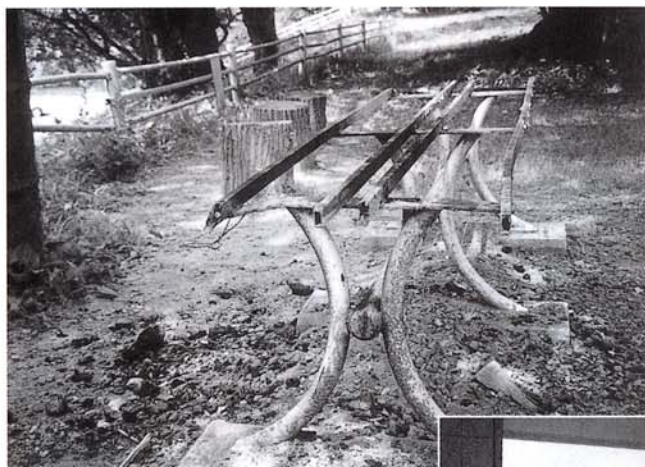
今年に入ってから、町内の公共施設、公共物に対する器物破損や放火などの事件が多数発生しています。

被害の状況は盛岡南ショッピングセンター・ナックス南側の公衆トイレのドアの破損、ガラスの破損、そのほか城山公園のベンチの焼失、紫波中央駅仮設待合室のポスターが焼かれ、壁やベンチを焦がすなど、同一個所で数回被害に遭っているケースもあり、目に余るものがあります。

これら公共施設や公共物は皆さんの税金で作られ、大切に使

わなければならないことはもちろん、大きな災害を招く危険もあります。また町外から町を訪れる人に、大変不快な印象を与えることにもなりかねません。

こうした事件には、少年たちが関係しているとの見方もあり、年々増加する町内での青少年補導とあわせて、犯罪抑止のため皆で取り組む必要があります。実際に報告されているだけでも、中高生男女の喫煙や怠学、夜間の徘徊など多く発生しており、社会環境はとても深刻です。このようなことから九月二十日、紫波警察署や町内の三つの



(上) 燃やされフレームだけ残った城山公園のベンチ (右・下) 盛岡南ショッピングセンター・ナックス南側の公衆トイレのドアの破損、ガラスの破損と、手洗い場の器具も破壊。そのほか隠れてたばこを吸った後がある公衆トイレなども見つかっています。

中学校、紫波高等学校、PTAなどの関係者からなる「紫波っ子すすくネットワーク」の会議がもたれ、少年非行防止対策について話し合われました。会議では情報交換のほか、今後の非行防止活動に向けた対策として「少年非行の状況を広く町民の皆さんに知っていただき、活動に協力してもらう必要があるのではないか」などの意見も出されました。

これまでは警察や防犯協会の人にパトロールを強化してもらうという考え方が主な活動でしたが、これからは地域のことを一番良く知っている人や実際に子どもを育てている両親が共に連携して活動することが必要だと思われま

「子どもたちが何を考えているのか分からない」「不安だ」「怖い」「パトロールを強化してください」という声をよく耳にしますが、だれかに頼むだけでなく、一緒に取り組むことで具体的な対策や効果的な活動が期待されます。

二十一世紀の町を担う青少年の健全育成、今できることから始め、みんなで明るく住みよい町を築きましょう。





10/28 山王海ダムで 第3回環境探検隊の開催



紫波みらい研究所では、紫波町の自然を体験できる、今年度2回目の環境探検隊を行います。

【日時】10月28日(日)、午前9:20にラ・フランス温泉館駐車場集合(バスで移動)、午後2:30ラ・フランス温泉館駐車場着 ※雨天決行

【場所】山王海ダムとその周辺

【内容】山王海ダム完成記念植樹/ダムの見学(なかなか見られないダムの内部見学も)/ダム周辺の自然散策など

【参加料】参加料 大人300円、子ども(小学生以上)200円

【持ち物】昼食、おわん、はし、雨具、敷物、使い捨てカイロなど

【服装】運動できる服装(寒くないように)

【問合せ・申込期限】10月19日までに社会教育課 ☎672-3362、有線01-8941



山と水辺のグループに分かれて開催した第2回の探検隊



生活環境課から
昨年を上回るペースの
飲酒運転検挙者

みんなでなくそう! 飲酒運転



最近、飲酒運転による検挙者が増加しています。今年8月までに72人が検挙されています。去年1年間の検挙者数77人を上回る勢いです。

さまざまな言い訳があるかもしれませんが、飲酒運転は法律で禁止されており、犯罪です。そして悲しい結末が待っています。また紫波町全体が、不名誉なイメージを持たれてしまいます。

町では、この事態を受けて、来年1月から紫波警察署

の指導をいただき、個人のプライバシーを保護しながら、検挙者の公表を検討しています。なお詳細については、今後の広報でお知らせします。

飲酒運転は、やってはいけない行為です。地域の皆さんのご協力で、飲酒運転ゼロの町を目指しましょう。

より一層のご協力をお願いします。

担当 生活環境課 ☎672-2111 内線153・154 有線01-8901

国民健康保険から 出産資金の無利子貸付のお知らせ

町の国民健康保険では、出産資金の無利子貸付を行っています。お気軽にご相談ください。

【貸付の対象者】国民健康保険に加入している妊産婦の世帯主(ただし、妊産婦が出産した時に、他の健康保険などから出産育児一時金を支給される場合を除く)

【貸付額】24万円

【返済方法】原則として、出産後に支給される出産育児一時金(30万円)と相殺します(出産後に差額の6万円が

支給されます)

【必要書類】①出産予定日まで1月以内の場合/国保被保険者証、母子健康手帳、収入印紙(400円)、印かん

②妊婦4月以上で出産に関係した費用が必要な場合/国保被保険者証、母子健康手帳、収入印紙(400円)、印かん 医療機関などが発行した内訳付きの請求書が領収書

【申込・手続き】町民課国保係 ☎672-2111 内線148 有線01-8900(午後2:30までにおいでください)



平成13年度介護保険料の減額申請の受付が始まります

介護保険料の負担により経済的に困りの人を対象に、保険料の減額が10月から開始されました。平成13年度は、この申請により減額される保険料は最高額で年間4,800円になります。

【減額のための条件】

※以下のすべての条件を満たすことが必要です。

- ①世帯員全員が市町村民税非課税（介護保険料第2段階）であること。
- ②年間収入金額の合計が2人世帯で120万円以下（世帯員が1人増える毎に40万円を加算）であること。
- ③市町村民税課税者に扶養されていないこと。
- ④市町村民税課税者から仕送りや公共料金の支払の援助を受けていないこと。

⑤資産等を活用してもなお生活に困窮していること。

【必要な書類など】

申請の際は、次の①から⑤の書類などをご用意ください。

- ①印かん
- ②年金額改定通知書の写し又は年金額振込通知書の写し（遺族年金・障害者年金などすべての年金を含む）
- ③健康保険被保険者証
- ④紫波町外に財産（土地・家屋等）を有している場合は、その明細書（名寄帳又は固定資産税課税明細書）の写し
- ⑤介護保険被保険者証

【問合せ・申請】 長寿健康課介護保険係（町保健センター内）

☎672-4522・671-2011 有線01-8974/税務課 税務係 ☎672-2111 内線134・135 有線01-8912

ボーイスカウト紫波1団 ガールスカウト岩手11団 の募集説明会

活動内容や会費など募集説明会を行います。

【日時】 11月7日（水）、午後6:30～7:30

【場所】 紫波町中央公民館

【対象】 小学生と来年小学校に入学する児童の父兄

【問合せ】 ボーイスカウト紫波1団 堀内利剛さん宅 ☎676-4335/ガールスカウト岩手11団 熊谷優子さん宅 ☎676-5535

不審電話にご注意！

今年4月以降、社会保険事務所などの職員をよそおい、個人情報聞き出す電話が全国各地で確認されています。

社会保険事務所で事業所や本人に電話で照会する場合もありますが、請求や届け出があった場合で、突然家族に電話するということはありません。不審電話があった場合には、逆に相手先の電話番号を聞き「折り返し電話します」と答え、安易に問い合わせに応じないようにご注意ください。

担当 町民課年金係 ☎672-2111 内線146・147 有線01-8900

芸術の秋にふさわしい 「紫波町芸術祭」

紫波町芸術文化協会や教育委員会・中央公民館が主催する紫波町芸術祭の各部門が、次の日程で開催されます。お問い合わせのうえ、芸術の秋をお楽しみください。



町民俳句大会

11月3日（土）、午後1:00、

会場：赤石公民館

展示部門

11月2日（金）～4日（日）、会場：中央公民館
オープニングセレモニー 11月2日、午前9:00

舞台部門

11月18日（日）、午前10:00、会場：中央公民館

小中学校作品展

11月23日（金）～25日（日）、午前9:00 会場：中央公民館

第17回音楽祭

吹奏楽部門 10月14日（日）、午後1:00、会場：矢巾町文化会館（田園ホール）/合唱・合奏部門 11月11日（日）、午前9:00、会場：中央公民館

【問合せ】 中央公民館 ☎672-3372 有線01-2922

届け出はお早め！ 家屋の取り壊し

固定資産税は、毎年1月1日を基準日として課税されます。12月31日までに家屋を取り壊した場合（一部取り壊しを含む）は、翌年度から課税されませんので、お早めに税務課までお届けください。なお、法務局に滅失登記をされた場合は届け出の必要はありません。
【問合せ】税務課資産税係 ☎672-2111 内線137 有線01-8912

【ラ・フランス温泉館 11月イベント】 〈紫波町民バンド演奏会〉

【日時】11月11日（日）、午後2:00～
【会場】交流プラザ紫波
【料金】無料（当日、どなたでも鑑賞できます）
【問合せ】ラ・フランス温泉館湯楽々 ☎673-8555

あなたは悩んでいませんか？ 女性保護巡回相談

夫婦関係、子育て、近所つき合い、生活困窮など女性を取りまく問題は複雑、深刻化しています。悩みをお持ちの女性に必要な保護、援助を行い、問題解決のお手伝いをするのがこの相談会です。大きな問題になる前に、苦悩から少しでも楽になるために、どうぞご相談ください。プライバシーは保護いたします。また女性ならだれでも利用できます。

【日時】11月28日（水）、午前10:00～午後3:00（随時受付）

【会場】総合福祉センター

【相談員】県福祉総合相談センター児童女性部相談員

【申込・問合せ】社会教育課 ☎672-3362

夫からの暴力行為を受けたことがある…22.7%

（平成12年2月総理府・男女間における暴力に関する調査結果）

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が制定されます。

今まで夫婦のもめ事とされていた夫から妻へ（妻から夫）の暴力から被害者を守る法律が10月に施行されます。主な内容は

- ・ 婦人相談所、警察をはじめとするさまざまな機関で相談を行う（相談機関案内パンフレットは社会教育課にあります）

- ・ 婦人相談所や民間のシェルターに被害者と子どもを一時保護する

- ・ 暴力をふるう夫（妻）が近寄ってこないように接近禁止命令や退去命令が出される

などです。詳しい内容は内閣府ホームページに載っています。アドレス <http://www.cao.go.jp>

有馬式夫さんを迎え 子育て支援講演会

日詔幼稚園では子育て支援講演会を開きます。講師はカウンセラーで成増キリスト教会牧師の有馬式夫さん。参加自由ですので、ぜひどうぞ。

【日時】10月19日（金）、午前10:00～正午

【会場】日詔幼稚園（無料）

【テーマ】「愛し 育て 望み 祈る——創造的関係を求めて——」

【問合せ】日詔幼稚園 ☎672-2542

いわてシルバー洋上セミナー 参加者募集

平成14年1月17日（木）から20日（日）まで那覇を中心に行われる平成13年度シルバー洋上セミナーの参加希望者を募集しています。

【参加資格】平成14年1月1日現在で60歳以上で心身ともに健康な、地域活動の実践者やリーダーとして活動している人で、過去に参加していない人

【申込方法】参加申込書に診断書（所定のもの）を添えて11月2日までに社会教育課に提出（12月に事前研修が行われます）

【参加費用】1人6万円（町から2万円補助する予定です）

【募集人数】町内から5人の予定です

【問合せ】社会教育課 ☎672-3362 有線01-8941

晴れやかな門出に向けて！ 平成14年 紫波町『成人式』

【町外在住者の受付】

町では、平成14年1月14日（月）に成人式を開催いたします。この成人式では、転出により現在町外に居住されている人についても、希望により参加することができます。参加希望の人は、下記にお申し込みください。

なお、町内に住所を有している人については、申し込みの必要はありません。

【対象】昭和56年4月2日から昭和57年4月1日までに生まれた町出身で、現在町外に居住され成人式への参加を希望する人

【申込期限】11月30日（金）までに社会教育課へ氏名、生年月日、性別、現住所、帰省先住所をお知らせください。（ご本人またはご家族から、電話などで）※成人式の案内状は、12月中旬に発送する予定です。

【申込・問合せ】社会教育課 ☎672-3362 有線01-8941

ユニフォームも手製
「地産地消」のお手本の
そば打ちグループ



シリーズ「働く人に会う」

災い転じて笑顔

きっかけは減反政策によるソバへの転作だった。確かに補助金が出るが、「作る喜び」ではなく「作らざるを得ない」環境に組合員だれもがひそやかなため息をついていた。しかし今、自らのソバ粉を製品として販売することで、災い転じて福と言って良いほど、稲一そばのメンバーの顔は輝いている。この日、古館のスーパーでの、生そば初販売の準備のため集まった皆さんは、笑顔でそばの打ち方を話し合っていた。「昨日のは打っていたときは今ひとつだったけど、ゆでたら良かった」「気温も関係するから」「湿度も関係するかも」。八月三十日から本稼働となった稲一そばの工房は高校生の「部室」のようなにぎやかだ。「みんな農家ですから常時はできませんが、そばって意外に簡単なんだということを知ってもらおうよ、出張そば打ち教室をやっていきたいですね」と語るのは事務局長の西在家悦子さん。一方の組合長の小田中あや子さんは「十割そばは奥が深い。だからこそもっと良いものができるんじゃないかと思って努力努力の毎日です」と恥ずかしげに微笑んだ。後日、フルーツの里まつりの水分会場で、このそばを味わう機会に恵まれた。添加物なしのそばとたれば、確かにおいしい。横で小さな子どもが碗を差し出した。「おかわり！」の声とともに。

町長メッセージ

青少年の健全育成に 地域全体で取り組もう

六月ころから、学校や公共施設が心無い人によって破壊される事件が相次ぎ、被害件数も十件を越え、中には火災の恐れのあるものもありました。さらには、深夜の徘徊、廃屋に不法侵入しての喫煙、学校施設への侵入、ブルへの物の投入など目に余る状況です。

当町の子どもたちは元気で素直な子が多いといわれていますが、一部の子どもらによるこのような行為がとても残念です。なぜ、このような事件が発生するのでしょうか。友人関係、社会への不満、学校や大人社会への反抗、一時の歓楽を求めている行為など、多くの原因や悩みを抱えているものと思われます。一つ一つの原因を解明した上で有効な対策を講じ、一日でも早く立ち直れるよう努力する必要があります。子どもたちは周囲の影響に大きく左右されます。地域に住む私たち大人も、率先して模範を示すような暮らし方をしなければならぬと思います。

町では現在、循環型のまちづくりを目指し、森林資源循環などの取り組みを行っています。やさしさや豊かさなど木や自然の持つ限りない力が子どもたちの本来の可能性を引き出し、この取り組みが子どもたちの健全育成の一助になるものと確信しております。子どもたちは地域の「宝」、町の「宝」であります。私たちには子どもたちが健全な環境で学べる地域を作り上げる使命があります。学校、家庭、地域が一体となって、紫波町の健全な後継者の育成をともに考え行動くださるよう、心からお願いいたします。

(藤原 孝)

編集後記 収穫の秋です。食べ物がおいしいだけでなく、楽しいイベントが多いのもこの季節。先月はフルーツの里まつり、そして今月は産業まつり。「地産地消」実践のために食べるぞ！——単なる食いしん坊と言われそうですが。(佐藤)

【ご意見・情報は】

企画課「紫波ネット」情報係まで

【ホームページアドレス】

<http://www.town.shiwa.iwate.jp>

【メールアドレス】

info@town.shiwa.iwate.jp

【紫波ネット10月号】〈平成13年10月10日発行〉

発行◆紫波町

〒028-3390

岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1

☎672-2111

印刷／川嶋印刷株式会社